

牛久市教育委員会 5月定例会会議録

1. 日 時 令和8年5月21日（木）午後1時45分
2. 場 所 ひたち野リフレビル 4階 第3会議室
3. 出席委員 川村 始子・吉原 英夫・宮本 芳子・磯山 貴洋・久野 あい
4. 委員以外の出席者

教育部長	高橋 頼輝
次長	稲葉 健一
教育総務課	課長 橋本 早苗
教育施設課	課長 齊藤 孝順
教育支援課	課長 柴山 信一
スポーツ推進課	課長 大町 泰介
生涯学習課	課長 山口 明
中央図書館	館長 柳橋 克栄
教育総務課	課長補佐 宮嶋 亮輔
教育総務課	主事 藤田 悟瑠
5. 欠席者 なし
6. 会議録署名人 宮本 芳子
7. 議事事項

議案第20号	牛久市教育支援委員会委員の委嘱・任命について
報告第16号	令和8年度学校運営協議会委員の任命について
報告第17号	令和8年度牛久市訪問型家庭教育支援推進協議会委員の委嘱・任命について
報告第18号	専決第3号 令和8年度6月補正予算（第1号）について
8. その他

司会	出席委員が、定数に達したため定例会の成立を宣言。
教育長	開会を宣言する。 会議録署名人 宮本 芳子委員を指名する。
教育長	初めに、議案第20号「牛久市教育支援委員会委員の委嘱・任命について」、事務局より説明をお願いいたします。

<p>教育支援課長</p>	<p>議案第20号「牛久市教育支援委員会委員の委嘱・任命について」ご説明いたします。</p> <p>本委員会については、特別な教育支援を必要とする次年度入学児、児童及び生徒に対し、一貫した教育支援を提供するため、調査審議する、教育委員会の諮問機関であります。</p> <p>今年度の人事異動に伴い、4名を新規に委嘱・任命するものであります。</p> <p>今回新規に委嘱・任命の方としましては、学校教育関係者として牛久市神谷小学校校長 佐々木香織委員、県立美浦特別支援学校教頭 安伸夫委員、県立つくば特別支援学校副校長 平田勝委員、県立つくば特別支援学校特別支援教育コーディネーター 菅野真吾委員。以上4名となります。</p> <p>任期につきましては、令和8年7月1日から令和9年6月30日までの1年間となります。</p> <p>なお、学識経験者として委員を務めていただいていた砂村京子委員については、一身上の都合により、令和8年6月30日をもって辞任となっております。</p> <p>以上となります。よろしく申し上げます。</p> <p>議案第20号について質疑を受けるが質疑なし。 出席者全員の賛成を得る。</p>
<p>教育長</p>	<p>次に、報告第16号「令和8年度学校運営協議会委員の任命について」、事務局より説明をお願いいたします。</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>報告第16号「令和8年度学校運営協議会委員の任命について」ご報告いたします。</p> <p>学校運営協議会とは、学校と保護者や地域がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、協働しながら子供たちの豊かな成長を支え、地域とともにある学校づくりを進めるための協議会となります。</p> <p>委員の定数は各校20名以内、5月1日から翌4月30日までの1年を任期としております。</p> <p>今回は牛久市内13校の令和8年度の学校運営協議会委員の任命になります。</p> <p>全委員数は233名、うち新規委員が68名となります。</p> <p>以上になります。</p>

教育長	<p>報告第16号について質疑を受けるが質疑なし。</p> <p>次に、報告第17号「令和8年度牛久市訪問型家庭教育支援推進協議会委員の委嘱・任命について」、事務局より説明をお願いいたします。</p>
生涯学習課長	<p>報告第17号「令和8年度牛久市訪問型家庭教育支援推進協議会委員の委嘱・任命について」ご報告いたします。</p> <p>訪問型家庭教育支援推進協議会とは、きめ細やかな家庭支援を行うために、家庭、地域社会、行政等が一体となって、家庭教育支援のために取り組みを協議する会となります。</p> <p>国、県の補助金をいただいでの事業となります。</p> <p>牛久市では、支援の対象を外国籍の保護者としております。</p> <p>特に外国籍の転入に関しまして、取りまとめている課というものは、市役所内にはございません。</p> <p>そこで学校をはじめ、関係する課などの関係機関の方々に委員になってもらい、協議、情報交換をしております。</p> <p>3番 川嶋校長先生、4番 福岡校長先生、6番 北澤課長、7番 川口センター長が新規の委員となります。</p> <p>委員の定数は10名以内、任期は委嘱・任命の日から当該年度の末日までとなります。</p> <p>以上であります。</p>
教育長	<p>事務局の説明が終わりました。質問等ありましたらよろしく申し上げます。</p>
吉原委員	<p>訪問型家庭教育支援というのは、小中学生の保護者対象か。</p>
生涯学習課長	<p>小中学生で、外国籍の児童生徒をもつ親を対象としています。</p>
吉原委員	<p>幼稚園とか保育所は対象とはしていないのか。</p>
生涯学習課長	<p>はい。</p>

吉原委員	<p>広がるあれもないか。</p>
生涯学習課長	<p>小中学生のお子さんの下の子に、幼稚園生がいる場合もございますが、基本的には小中学生の子供のことを話していく協議会となっております。</p>
吉原委員	<p>教育委員会だから小中学生ってのはわかるんだけど、でも実際に生活している中で、保育所の子供も幼稚園の子供も、実は結構困っている家庭もあるんですよ。</p> <p>保育所、幼稚園の先生たちとコミュニケーションをうまくとれないとか。そういうときに例えば、どこかにお願いしたら通訳してもらえとか、そういうシステムはまだできていないと。</p>
生涯学習課長	<p>去年の議事録を見ましたけれども、去年の中ではそういうお話はされてはいないですね。</p>
吉原委員	<p>開かれた牛久市にするために、せつかくここまでやるんだったらもうちょっと広げることが、やがて小中学校に必ず繋がってくると私は思うんですけどね。</p> <p>早ければ早いほど支援の手は必要なような気がします。もし機会があったら提案してみてください。</p> <p>よろしくお願いします。</p>
教育長	<p>少し関連で、今年新しく市役所に入った方で、男女参画ではなくて多文化共生というところに担当が変わって、そして外国籍の方でも市役所の職員になって、多文化共生を推進していくような人が入ってきました。</p> <p>その人がどのくらいできるのかっていうところもあると思います。</p> <p>外国籍関係で学校の取り組みというところを、県の支援委員さんとか、日本語指導教室とか、支援員とか、そこら辺をもう1回確認してお知らせしたらいいんじゃないかなと思うんですが。</p>
教育支援課長	<p>日本語の支援については、県の方からまず日本語指導教室の加配教員として、二小と三中についています。ただ三中については、その人材が充てられていないというのが現状なんですけれども。</p> <p>支援員については二小にSA(スクールアシスタント)の久場さん、三中には</p>

	<p>新垣さんが配置されていて、日本語の指導であったり、または授業サポートというところで取り組んでおります。</p> <p>それから県の事業として、日本語支援員が1名つきまして、その方には複数校回っていただいている状況。枠としては1人ですけれども、実際には2人いて、それを1週間でうまく分けてやっていただいているような形ですが、それに合わせて日本語指導が必要な子が5年生以上でいる学校には、1学校につき1アカウント分、「スマートポケットfor school」というライセンスをつけていただいて、実際に来るのはこれからですけれども、同時通訳というところで活用していく。</p> <p>同じくスマートポケットfor schoolについては、今年度の予算で35台分とっていますので、そちらも各学校に配付して活用していただくというようところで、今取り組みを進めている形になっています。</p> <p>以上です。</p>
教育長	<p>結構外国籍の方は増えてきているので。</p>
吉原委員	<p>茨城県はそうでなくても多いわけですから。</p>
教育長	<p>昨年度よりは拡充している状況で、担当に聞いてみたら、何にも支援が入っていない子はいないのかと言ったら、それはないですということで、何かしら、支援が入っている。</p> <p>ただ、十分とは言えないと思うんです。</p> <p>ある学校さんでも、できればこういう方がいればいいんだけどなあ、ということで、国際交流協会の方にサポートしていただいて、こういう言語のこういう保護者が困っているので、と言ってサポートしていただいた実績もあるので、連携取りながらやっていければなというふうに思っています。</p> <p>十分とは考えてないんですが、とりあえず。</p>
吉原委員	<p>多分外国籍のお子さん、或いは保護者との会話というのは、携帯の翻訳などで、どんどんやっている人たちがいるので、それを活用すれば十分だと思うんですけど、教育に関することで相談するようなときに、必ずしもこれで十分ではない。</p> <p>なぜならば、どういう心なのかという理解はなかなかできないわけで、やっぱり相対で話をしないと、なかなか相談には乗れないのかな。</p> <p>そういう意味で、幼稚園、保育園、そういう人たちも相談できるようなシステムがどこかにあれば、牛久はすごいなっていう感じがするんですけどね。</p>

	<p>それに付随するもので、茨城県の境町でALTを幼稚園、保育所にも1人ずつ配置するんですよね。そういう考え方、非常に広がりを持って取り組んでいる市町村もあるんだなと。</p> <p>実は境町って子供たちを、外国にどんどん連れてっちゃうんだよね。小さい町なんですけども。</p> <p>しかも自費じゃないんですよね、町で出すんですよね。</p> <p>だからそういうのを考えていくと、これだけやっていればいい、では十分ではなくて、子供達に世界に目を向けさせるのであれば、小さいときから外国語に触れさせる、外国の文化に触れさせるってのは小学校からやればいいんだではなくてね。</p> <p>いいのかなっていうのをちょっと感じてましたので、ぜひこの訪問型の形を広げるために小学生以上じゃなくて、幼稚園、保育園の保護者でも相談できるというようなシステムをぜひ作っていただきたいなと思いますね。</p>
教育長	<p>次に「報告第18号 専決第3号 令和8年度6月補正予算（第1号）について」であります、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第14条第7項により出席委員の3分の2以上の多数で議決した時、これを公開しないことができます。本事案については、非公開にしたいと思いますが、委員の皆様にお諮りします。非公開とすることに賛成の委員は、挙手をお願いします。</p> <p>(全員挙手)</p>
教育長	<p>全会一致で非公開に決定しました。</p> <p>*****</p>
教育長	<p>以上で委員会の非公開を解除します。</p>
教育長	<p>以上で、本日の議事は終了いたしました。</p> <p>それでは5月定例会を終了いたします。</p> <p>次回の定例会は、令和8年6月25日木曜日、リフレビル4階第3会議室、午後1時45分での開催となります。よろしく願いいたします。</p> <p>この後、教育委員会全体での打合せを行いますので、そのままお待ちください。</p>

